

教 科	工業（建築技術科）	科 目	必修科目：建築計画	単 位 数	2
履修学年	2 学年	使用教科書	建築計画(実教出版)	履修年度	令和2年度
科目の目標	環境問題が建築物に与える影響を考え、その要因と対策を建築計画に活かせるよう指導する。また、建築様式の歴史的背景を理解させるとともに、有名建築物の設計者と特徴を理解させる。				

評価規準	①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③技能	④知識・理解
	建築計画に関する基礎的な知識と技術について関心をもち、その習得にむけて意欲的に取り組むとともに、創造的、実践的な態度を身につけようとしている。	建築計画に関する基礎的な知識と関心をもとに実際の建築物の設計について考え、自ら思考を深め、適切に判断し、創意工夫する能力を身につけようとしている。	建築計画に関する基礎的な知識や技術を習得するとともに、実際の建築物や設計図等を観察し、いかに表現されているかを考え、図面化できる。	建築計画に関する基礎的な知識と技術を身につけ、住環境を基本として、様々なライフスタイルに合わせた新たな知識を生み出そうとしている。
評価方法	授業中の取組状況、出席状況、ノート・課題プリント、定期考査	授業中の取組状況、出席状況、ノート・課題プリント、定期考査	授業中の取組状況、出席状況、ノート・課題プリント、定期考査	授業中の取組状況、出席状況、ノート・課題プリント、定期考査
	建築計画に対する興味関心・意欲などを確認テスト、ノート提出、課題プリント提出により判断します。出席状況、授業中の取り組み姿勢（授業に必要な物品の整理整頓なども参考にします。以上を踏まえて、定期考査の結果と併せて総合的な評価をします。			

学期	月	時数	単 元	学 習 内 容	評 価
1 学期	4	12	第1章 建築と環境	1. 建築と環境の概要 2. 屋外環境と室内環境 3. 換気と通風	授業中の観察（取組状況） 「中間考査」・ノート ・その他の提出物他
	6			4. 伝熱と結露 ①熱貫流 5. 日照と日射 6. 採光と照明	
2 学期	9	6	第1章 建築と環境	7. 色彩 8. 音響 ①遮音 ②吸音 ③騒音	授業中の観察・プリント 「中間考査」・ノート ・その他の提出物他
	10	6	第2章 住宅の計画	1. 住宅の意義 2. 住宅計画の進め方 ①企画・計画	
	11 12	12	第2章 住宅の計画	3. 全体計画 4. 各部の計画 ①共同的な空間 ②個人の生活空間	
3 学期	1 2 3	12	第3章 各種建築物の計画	1. 集合住宅の計画 ①全体計画と各部の計画 2. 事務所の計画 ①全体計画と各部の計画	授業中の観察・プリント 「学年末考査」・ノート ・その他の提出物他